

臨床研究に関するご協力のお願い（情報公開：オプトアウト）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去の診療記録（電子カルテなど）に記録されている情報のみを用いて行われるもので、患者様に新たな検査や通院をお願いすることはありません。

ご自身の情報を研究に使うてほしくないと思われる方は、いつでも拒否することができます。その場合でも、今後の診療において不利益を受けることは一切ありません。

1. 研究の名称

急性期脳主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法における梗塞進行速度とFirst Pass Effectが機能予後に及ぼす影響に関する後ろ向き観察研究

2. なぜこの研究を行うのですか？（研究の目的）

脳の太い血管が急に詰まる「急性期脳梗塞」に対しては、カテーテルを用いて血栓を取り除き、血流を再開させる「血栓回収療法」が行われています。血栓回収療法では、できるだけ少ない回数の治療操作で血流を再開させることが、患者様のその後の回復に重要であることが知られています。

一方で、脳梗塞が進行する速さには患者様ごとに大きな違いがあります。そのため、同じように血流を再開できた場合でも、脳梗塞の進行する速さによって、その後の回復への影響が異なる可能性があります。

本研究では、血栓回収療法を受けた患者様の過去の診療情報を用いて、脳梗塞が進行する速さと、少ない回数の治療操作で血流を再開できたことが、その後の回復にどのように関係しているかを調べることを目的としています。

この研究によって、患者様ごとの脳梗塞の進行速度を考慮した、より適切な治療方法を検討するための知見が得られることが期待されます。

3. どのような人が対象になりますか？

対象となる方：2018年1月1日から2023年12月31日までに、当院で脳梗塞に対する血栓回収療法を受けた方

研究期間：倫理委員会承認後 ～ 2028年6月30日まで

4. どのような情報を使用しますか？

- 年齢、性別などの基本情報
- 脳梗塞の発症前の生活状況
- 高血圧、糖尿病、心房細動などの既往歴や脳卒中の危険因子
- 脳梗塞発症時の症状や重症度
- 血液検査等の診療情報
- MRIなどの画像検査の結果
- 脳梗塞によって障害された脳組織の大きさ
- 脳梗塞発症から画像検査までの時間
- 閉塞していた血管の部位
- 血栓回収療法の治療方法および治療経過
- 血栓回収療法における治療操作の回数および血流再開の程度
- 脳梗塞発症から血流再開までの時間
- 退院時および発症約90日後の日常生活の自立度などの治療結果

これらの情報を用いて、脳梗塞の進行する速さと血栓回収療法の治療結果、その後の回復との関係を統計学的に解析します。

5. プライバシーはどのように守られますか？

お名前やカルテ番号、住所など、患者様個人を直接特定できる情報は研究に使用するデータから削除し、代わりに研究用の番号を割り当てて管理します。患者様と研究用の番号を対応させるための情報は、旭川赤十字病院内で適切に保管し、院外に持ち出すことはありません。

個人を直接特定できる情報を含まない研究用データは、研究実施者が管理するパスワードで保護されたパソコンに保存し、研究目的の解析にのみ使用します。研究関係者以外がデータにアクセスできないよう適切に管理します。

また、研究成果を学会や論文で発表する場合も、個人を特定できない形で結果を公表するため、患者様個人が特定されることはありません。

6. 研究への協力を拒否したい場合は？

この研究にご自身の情報を使用してほしくない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

※既に解析が終了し、研究結果が公表されている場合は、完全に削除できないことがあります。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 瀧澤 克己、和田 始、水嶋 慎

TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648